

鏡野中学校では、今年、自分を信頼し、仲間とともに夢を実現する自分へと成長できる取り組みを進めています。これを夢いっぱいプロジェクトと名付けて生徒と教職員が一緒になって推進しています。そして、このプロジェクトを形にして日本一幸せの多い学校を目指しています。

全教職員が共通認識し、全力で子どもたちをサポートしていきます。子どもたちもこの取り組みに応えるように、さまざまな場面で頑張ろうとする姿勢が感じられるようになってきています。



▲トイレ掃除を頑張る生徒

とめます。自分自身の学びや生活、部活動などで頑張ったことや取り組んだことを3年間の自分の成長として記録し、自分をさらに伸ばし、将来の目標に向かって、仲間とともに、今どうしていくべきかが考えられるようにしていきます。

4月から、学校生活のさまざまな場所や場面で子どもたちの頑張りや変化が見られていきます。学習に意欲的に取り組むといったことだけでなく、掃除を頑張ったり、トイレのスリッパをそろえたり、困っている人がいたら、気軽に手助けをする生徒が増えているようです。

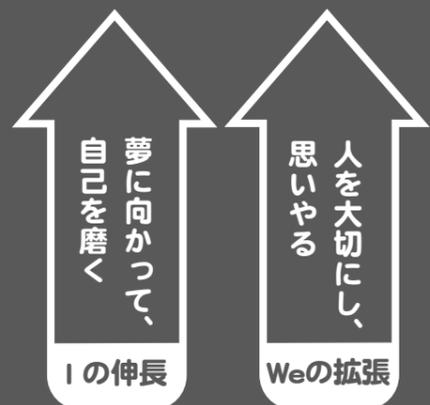
こうした行動は行った人だけでなく、その場面を見た人や周りにいる人全てを気持ちよく幸せにさせていきます。

(鏡野中学校)

立志 ～かけがえのない存在としてのあなたへ～

この世に、一人として同じ人間はいない。
あなたという人間は、この世にたった一人しかいない尊い存在である。
あなたの中には、あなたも知らないすばらしい能力が眠っている。
あなたの中には、人を幸せにするすばらしい優しさがある。
自分の中のそのすばらしい能力を磨き、輝かせることができるのは、あなた(自分)しかいない。
自分の中のそのすばらしい優しさを、人のために使えるのもあなた(自分)しかいない。(磨かなければ、輝かない。使わなければ、優しさは伝わらない。)
まず、自分のよさを見つめよう。
そして、その自分のよさを生かした夢をもとう。
夢に向かって、自分の可能性を信じて、自分を磨き、讃えよう。
そして、人や社会に貢献し、まわりの人から感謝されるような、幸せを生み出す存在となろう。
たった一度のかけがえのない自分の人生を志(こころざし)をもって最大限に輝かせよう!

自分を信頼し、仲間とともに夢を実現する自分



自分に対する信頼

空き家調査で香美市移住促進!

～空き家情報の提供をお願いします～



◆空き家調査

香美市では、昨年度から市内の中山間地域を対象に空き家調査を行っています。調査のご協力をお願いします。(対象地域=香美市の都市計画区域外)

◆空き家バンク

空き家の所有者の申請により、**空き家バンク**の登録を行っています。

空き家情報は香美市ホームページ等で紹介しています。居住可能な空き家で、長期間居住予定がなく、維持管理が難しくなっている場合は、空き家バンクの登録をご検討ください。空き家に人が住むことにより家の管理ができます。空き家についての情報提供をお願いします。

市内で空き家が増えています。維持管理ができない空き家は、4年～5年で住めなくなり、防犯上も危険です。

都会には、安心して暮らすことのできる場所を探している方が多くいます。

移住者を受け入れてくれる地域は、人が人を呼んで人口が増える傾向にあります。地域住民と良い関係ができれば、住み続けることができるので、集落維持につながります。移住促進にご協力をよろしくお願いします。

◆空き家の修繕に補助金があります

空き家バンクに登録した空き家の契約者が、市外から移住された方の場合、空き家の改修工事費に対する補助金がありました。

市内業者を使った改修であることや、改修後の家屋に5年以上住むことなど、その他にも補助要件があります。詳細はお問い合わせください。

◆香美市お試し移住体験住宅

香美市へ移住を希望する県外の方が、一定期間生活体験を行えるように、香北町吉野に**香美市お試し移住体験住宅**を用意しています。現在単身者向けに3部屋を貸し出しています。

問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎53-1061

地域づくり支援員の

まがせちよ記

こんにちは。物部町(久保・大西・南池)地区を担当している地域づくり支援員の藤田竜也です。

昨年1月から活動を始め、もう1年半が過ぎました。現在も集落維持のために、人口減少や高齢化で管理の行き届かなくなった水源地の管理や草刈りの作業を行っています。

生活用水確保のために、水源地までの険しい山道を歩いていくのは大変なことです。途中で崩れた道や落石の危険のある箇所があり、作業を行う際には、毎回注意が必要ですが、集落の方々と助け合い、不自由のない暮らしを送っています。

支援員活動を始めてから知人を通じてたくさんの移住希望者から相談があり、担当地区に7世帯13名が移住しました。

これからは移住希望者が来てくれることを望んでいますが、問題は空き家がないということです。人が住んでいない家でも家具がいっぱいあって、物置状態になっていることが多く、貸すことができないからです。

空き家をそのまま放置をすれば、数年後には本当にこの集落には人がいなくなってしまいます。手遅れになる前に、今行動を起こし、過疎化が進む地域のお手伝いをしていきたいと思えます。

